

文化遺産総合活用推進事業 実施報告

1 都道府県・市区町村名	福岡県	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群世界文化遺産活性化事業		
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度		
5 過去の補助事業実績			
平成23年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成24年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成25年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成26年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成29年度文化遺産総合活用推進事業			千円
平成30年度文化遺産総合活用推進事業		33,618	千円
6 計画の実施状況（概要） ※平成30年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。			
<p>平成29年7月に世界遺産に登録された、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群について、遺産群を確実に次世代に継承するとともに、積極的な活用によって地域活性化を図ることを目的として、保存管理の手法の確立と、世界遺産としての価値の発信、更なる価値の探求を進めるため、平成30年度においては映像制作事業及び調査研究事業を実施。</p>			
7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 ※平成30年度までの進捗状況について、実施計画で設定した指標に基づき、状況値と目標に対する達成率を記載してください。（指標・目標値を複数設定している場合は、全て記載）。			別紙①②のとおり
8 事業実施による効果等 ※平成30年度までの計画の実施により得られた効果や実施以後の状況（人数、理解度、活用状況、人材育成などの指標に基づき、定量的・定性的な効果）を具体的に記載してください。			
<p>調査研究事業のうち、古代アジアの航海、交流と祭祀に関する調査研究では、研究上の課題を明らかにすることができた。また作成した遺産影響評価マニュアルの運用を開始することとしており、今後も運用状況に応じて内容の修正を行う必要がある。</p> <p>情報発信事業においては、ガイダンス施設にて大型映像コンテンツを導入し、ガイダンス施設の来館者にアンケートを実施したところ、理解度や再訪意欲に関する設問は平均して79%が肯定的な回答であった。その一方で、海の道むなかた館の来館者数は、H29年度181,692人、H30年度141,251人（平成31年2月末時点）と減少傾向にある。</p>			
9 得られた効果の検証・分析			
<p>本遺産群に関しては、蓄積された調査研究を一般に向けて広く発信する機会がないため、今後は価値発信を行っていく機会を設けるとともに、調査研究の発展の仕組み作りを行う必要がある。また、ガイダンス施設への来訪者は減少傾向にあるため、情報発信のみならず、今後は対象ごとに異なる手法で普及啓発事業を実施し、様々な年齢層の人に本遺産群に対する興味関心をもってもらい、現地へ足を運ぶ機会を作る必要がある。</p>			
10 総括評価結果 ※実施計画期間終了の翌年度における総括評価の結果を定量的・定性的な側面から具体的に記載してください。			

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

具体的な指標 1 :	海の道むなかた館の来館者の理解度、再訪意向				関連事業:					
目標値 1 :	平成 29 年度		0 %		⇒	平成 32 年度		80 %		
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度					
%	%	79 %	%	%	%					
		99%								

※ 指標の設定状況に応じて、適宜追加・削除してご使用ください。

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙（関連事業）

事業①：	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群映像制作事業	実施団体：	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会					
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度					
事業概要：	一般が渡島できない沖ノ島および遺産群全体を臨場感を持って紹介する映像を作成し、遺産群のガイダンス施設において放映する。沖ノ島に渡島する代わりとなる機会を提供し、他の構成資産の魅力を紹介することにより、遺産群への来訪を促し、世界遺産としての価値をより多くの人々に発信する。							
具体的な指標：	海の道むなかた館の来館者の理解度、再訪意向							
目標値：	平成 29 年度		0 %		⇒	平成 32 年度	80 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成	年度	平成	年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
	%		%	79 %	%	%	%	
				99%				
事業②：	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群調査研究事業	実施団体：	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会					
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度					
事業概要：	平成29年の第41回世界遺産委員会決議で勧告された、（1）海上交流、航海、および関連する文化的・祭祀的な行為に関する日本および周辺諸国との調査研究、（2）遺産影響評価の導入に関する調査研究、（3）風力発電施設等の設置による構成資産の視覚的完全性への影響に関する調査研究を実施する。							